

※※夜間看護等手当が増額になりました。※※

……………準夜3500円・深夜4200円……………

これまで全医労が長年にわたって本部女性部の交渉、賃金交渉で訴え続けてきた結果、4年ぶりに夜間看護等手当が上がりました。これまで深夜勤務の手当てが3200円しかついていなかったところも、今回の交渉で4200円になりました。合わせて準夜勤務の手当は3500円に、2交替は8600円になりました。この手当の改善のために国立病院機構は12億円を充てるとしています。賃上げが厳しい情勢の中で、これはすごい成果です。



中国地方協の支部からは「早速この成果を訴えて拡大しました」との報告が届いています。実施は来年の4月からですが、今からこの成果を旺盛に未加入者に訴えて拡大しましょう。（本部作成のピラを活用してください）

笑顔で働き続けられる職場を作ろう！

育児中の職員の深夜勤務の制限・育児時間等取れていますか？

（みんなの権利ノートP.17・P.22）



11月末までに取り組もうと提起した「仕事・子育てアンケート」の取り組みをした支部はあるでしょうか？

各地方協で話を聞くと、育児休暇から復帰する前に看護部長室から電話があり、本人の意向も聞かず「夜勤をつけといたから」とか「夜間保育があるから夜勤できるでしょ」と言われたなど、機構の「仕事と子育ての両立支援プログラム」の趣旨を逸脱する看護部の対応があると聞きます。看護師不足で1回でも、1人でも、夜勤に入ってくれる人がほしいための対応と思われるかもしれませんが、非常に問題と思います。

今こそ、組合の出番です。アンケートを活用して、物言わぬ看護師の声を拾って働きやすい職場にしましょう。

また、小学校就学前の子を養育している場合、勤務の初めか終わりに1日2時間を限度に取れるのが「育児時間」です。この制度は休業扱いですから、勤務しなかった時間は給与から差し引かれます。申請しているのに取れなかったら「育児時間の承認を取り消された時間」として申請しなければ給与は支払われません。10分でも申請しないと給与は差し引かれたままになります。これが周知されているでしょうか？点検する必要があると思います。

「特定看護師反対個人署名」の取り組みは進んでいますか？

厚生労働省は「技術的難易度が高く、判断も難しい医行為（特定行為）」を「診療の補助業務の拡大」で医師の「具体的な指示」があれば一般看護師も実施できるようにすると議論を進めていました。特定行為は当初 29 項目とされていましたが、現在は 41 項目に増えています。この中には「経口・経鼻気管挿管」「経口・経鼻気管挿管チューブの抜管」も含まれており、日本麻酔科学会の理事長からも「麻酔科医から見ても非常にリスクが高い」と特定行為から外すよう声明文が出されています。

今後、特定行為については診療の補助業務の拡大として、医療法等一括改正法案（保助看法の改正含む）というパック法案として来年の通常国会に提出される見込みです。

この署名は、これまでの取り組みでは全体で 15,000 筆、全医労としては 5000 筆にも達していません。全医労組合員の 3 分の 2 が看護師とすれば少なくとも 14,000 筆は集めたいものです。11 月 25 日付通知で発出しているように、来年の 3 月末まで取り組みを延長しています。「新・夜勤改善・大幅増員署名」と共にこの署名も取り組みを強化しましょう。

各地の女性部の取り組み紹介

中国地方協「子育て応援集会」

11 月 22～23 日、中国地方協は「子育て応援集会」と題して、女性部と保育園の合同の会議を開催しました。12 支部から保育士・保護者・支部の三者が 18 人参加しました。

講演では「子供を真ん中にして考えよう保育園」と題して岡山市市職労の平松康子さん（保育士）の話を聞き、改めて子供の育つ環境について考えました。

討論では「保育園の労働環境」「保護者の立場から」「保育所と支部のかかわりについて」の 3 点で意見交換し、組合員がいない保育園に支部としてニュースをもって話に行くなど何らかの行動を起こそうと確認し合いました。



東海北陸地方協女性集会

12 月 11 日、東海北陸地方協は 40 名の参加で女性集会を開催しました。

安倍政権下で改憲の可能性が高くなっています。そこで、伊藤 真弁護士による「日本国憲法と私たちの生活～今なぜ憲法なのか～」と題した講演を聞き、参加者からは日本国憲法の素晴らしさに改めて共感と感動の声が聞かれました。

全体討論では、職場の問題について出し合い共有しました。元気な女性部長の進行で明るい雰囲気での集会でした。



今年もあとわずかとなってきました。寒さも厳しくなりますが、みなさん元気に 2013 年から 2014 年へと年を越していきましょう。

